

HOTBIKE

Japan

MAGAZINE FOR HUMAN BEINGS WHO RIDE
HARLEY-DAVIDSON

STICS "NEW ORDER" SPECIAL

全台完全網羅+試乗!
ニューオーダー
パーショ-

SEPTEMBER 2011 VOLUME 121

6th annual New Order Chopper Show

DOUCHE LAROUCHE MC

全米一くだらないクラブのコト

FINE MAINTENANCE

出先で止まった、さあどうする?

THE IMPRESSION

1936EL / タイムマシーンに乗って



New Order Chopper Show 6th annual

7日、第6回ニューオーダー・チョッパーショーが開催された。出展総数152台で埋め尽くされた神戸国際展示場3号入口には観客たちが長蛇の列、関西～西日本を代表するこのショーがマニアの強い支持を集めていることを強く実感。に加えEVOモーター搭載車も多く、“日常的に付き合うこと”を重視したバイクが増えた様子。トライアンフや国産車も目を惹いた。わずか10日で書店に並んだこの奇跡! まだ冷めやらぬ熱を伝える誌上ショー、開演です!

HBJ.com 連動企画
www.hotbikejapan.comにて
NICE! ボヘミアン岡田と
ACE 徳山公俊の二人による
ニューオーダー対談を掲載!





TRIJYA

2010年式のXR1200をベースにした意欲作。今期NOCSでも唯一のXRカスタムだったがご覧の通り極めて高い完成度を誇る。ワンメイクのスイングアームやオーリンズのサス、トリプルツリー等、走行性能もアップデートされる。オーナー／中野



TRIJYA

tel.072-970-3110
trijya.com

高年式ベースのハイテック6台をズラリと展示した大阪柏原市のトライジャ。オールドスクールなノリが大半を占める会場で異彩を放った。建築家ガウディのオマージュであるご覧の99FXSTCは、独創的な外装と鮮烈なカラーで見ると全てを圧倒する。オーナー／櫻根



TRIJYA

ツインカムを懐に抱く怒濤のトライクでコンセプトは「生命感」。ロングフォークを装着するがトレール角が吟味され、エキセントリックなルックルに反してニュートラルな走行性能を誇る。ブラックアウトした外装に映えるピレットホイールもベストな選択だ。オーナー／カヤノ



TRIJYA

1.2mm厚の鉄板を用いて気の遠くなるようなシートメタルで生み出された有機的なエクステリア。2010年式のFXSTがベースとなるご覧の一台は製作者によりPHLOXと命名。各所に配された欧州メイドのピレットパーツにも注目されたし。オーナー／花井



TRIJYA

「炎のエスカルゴ」がテーマとなる2002年式のFXSTS。ボリュームある外装一面に練り広げられるフレイムスのペイント。ズバ抜けた存在感である。ハンドメイドのハンドルや同店のオリジナルパーツブランド「彫美」の真鍮パーツもポイント。オーナー／内林



TRIJYA

低く構えたシルエットが比類なき存在感を放つ一台。ランボルギーニのレヴィトンをモチーフに製作されたトライジャ渾身のハイテック。ワンメイクの外装と欧州パーツの融合は、トライジャが最も得意とする手法。オーナー／植田